

エピソード

Aくんが紫色のクローバーの葉っぱ(オキザリス)で紫色の色水をつくったのに、気付いたら水色の色水になっていた、という不思議な体験をしました。保育者が「とうやったら水色になったの?」とたずねましたが、「とうやったか分からない。でも面白いからみんなに言いたい!」と、話し合いで共有することになりました。不思議な現象を聞いたクラスの子達は「葉っぱに水色の粒が入っていたのかな?」「入れたのは葉っぱと水だけ?」「カップラーメンの容器でつくったからかも?」など、使った素材や道具が関係しているのではないかと考えました。そして話を聞いた友達も理由が気になり「僕たちもやってみよう!」と、刺激を受けていました。

普段は体を動かして遊ぶことが好きなBくんとCくんが、色水遊びに加わりました。「今何を使ったの?」「紫色の葉っぱってどこにあるん?」と友達に聞きながら、思い思いに紫の色水をつくりました。そして、粉末洗濯のりをドバッと入れた瞬間、紫だった色水が水色に変わりました。「あ!水色になった!」と大きな声をあげ、周りの友達が集まりカップの中を覗き込みました。友達も「ほんまや!すごい!」「水色に変わった!」と驚き、紫色の色水と比べながら面白さに共感しました。「洗濯のりを入れたら色が変わるんや」「Aくんの色水が水色に変わったのは洗濯のりを入れたからやな」と、不思議な現象の理由が分かり、刺激を受けた友達も洗濯のりの量を調整しながらつくり始めました。

子どもの育ちや学び

この葉っぱを使ったら水色に変わったんだよ!  
(不思議・面白い・疑問)



洗濯のりを入れてみよう(試す)



そうなんだ!僕もやってみよう(共有)

洗濯のりを入れたら紫色から水色に変わった!  
(発見・驚き・面白い・比較)



洗濯のりの量を増やしたらもっと水色になったよ(発見)

- ・不思議な現象を、話し合いで伝え友達と共有する。
- ・友達の話や写真を見て不思議さや面白さを感じ、色が変わったことに疑問をもち、理由を考える。
- ・様々な素材を組み合わせ、色水遊びを楽しむ。
- ・洗濯のりで色が変わる瞬間を見て、水色に変わった理由に気付く。

保育者の思い

- ・刺激を受けたBくんとCくんが色水遊びをしたことで、水色に変わった理由に気付きました。話し合いでは、遊びの中で感じたことを言葉で伝える楽しさを感じるとともに、色々な遊びに関心をもち、友達のアイデアを聞いたりクラスで共有したりすることで遊びが広がってほしいという思いで取り組んでいます。
- ・オキザリスは酸性、洗濯のりは弱アルカリ性なため、混ぜると中和反応を起こして色が変わります。子ども達には、目の前で起きている現象の不思議さや面白さを十分に感じ、自分たちなりに理由を見つけてほしいと思い、変色した原理は伝えず子ども達の考えを見守りました。

家庭だったら...

様々な素材を組み合わせ、試して遊び込んだことで、洗濯のりを混ぜると色が変わることに気付きました。水溶液の性質は小学校の理科で学習する内容ですが、子ども達は遊びの中から学びの芽を育てています。まさに“遊びは学び”であり、心を動かして遊ぶ経験を積み重ねることが、小学校以降の「知りたい」という意欲へとつながっていくと考えています。子ども達の心動かす体験を大切にしていきたいですね。